



にししやう

西小だより

ホームページはこちら→



「強く 正しく 健やかに」 令和5年 9月13日(水) 第9号 校長 都外川 潔
今年度は学校創立150周年。そして、コミュニティスクール1年目です。

成長の見える化を

2学期のスタートにあたって、私は本校の職員に次の3つのことを話しました。

- ①「心身を守りましょう」
- ②「思いやりましょう～ Respect 」
- ③「見える化をこころがけましょう」

①については、子どもたちも職員も、暑さが残る中での運動会練習となりますので、決して無理はさせないように。運動会は「立派なものを見せる日」ではなく、「児童が体を動かすことを楽しむ日」と、とらえましょうと話しました。

②については、職員同士、児童へ、保護者・地域の方々へ、すべての人間関係において、尊敬と感謝、思いやりの心をもって接しましょうと話しました。

③については、子どもたち一人一人や学級集団の成長に目を向け、「これだけ成長したね！」と、わかるように伝えましょうと話しました。
特に③の「見える化」は、児童が自分の成長を知ること、自信が付き、やる気アップにつながるとても大切なことだと考えています。例えば運動会でリレーに取り組む学年があれば、運動会当日の順位だけでなく、はじめの頃と、最後の練習のときのタイムを比較して、「これだけ速くなったよ！」と示すことで、努力がどのように成果となって表れたかがわかり、喜びにつながるとおもいます。

西小だより第3号では、全国学力・学習状況調査における西小のKDTD問題(「かなり できていないけど ちよっと考えると できそうな問題」)として、次のような問題を紹介しました。

部を漢字でいねいに書きましょう。
雑草取りを続けたのですが、いがい雑草が生えてきて、とてもこまりました。

この問題の正答率は4月には41.8%でした。西小では、先日、2～6年生を対象とした「国語・説明文の基礎基本についての前学年の復習プリント」を実施したのですが、今年度は、6年生対象の問題に、このKDTD問題を入れてみました。すると、その結果は…正答率が81.3%と、ずいぶんアップしていました。これは、この問題を各学級で解説したり練習したりした成果だと思っています。これからも、学校全体で、「見える化」を意識して教育活動を行っていきます。

思いやりの心は見えませんが、姿には表れます

私は、毎朝校門前の横断歩道で児童の登校の見守りをしています。進んで挨拶ができる児童が増えてきたなあと思うところですが、ただ、何とかならないかなあとも思っていることもあります。それは、歩道を歩いておられる地域の方が子どもたちとすれ違う際に、児童が道いっぱい広がって歩いているために、地域の方が車道に押し出されてしまうことです。私はハンドサインで「一列になって！」と知らせるのですが、なかなか気づく子は多くはありません…。歩道は公共の場ですので、譲り合って気持ちよく通れるようにしたいと思います。このことについては学校でも指導を続けているところですが、ご家庭でも話題にしていただけるとありがたいです。